

平成31年度入試（平成30年度実施）の情報開示  
 解答例又は出題意図について

入試の区分	一般入試（前期日程）
学部学科等	都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科
教科・科目名	その他／ 総合問題
正解・解答例 又は出題 (面接)意図	<p>① 日本の住宅事情（都道府県別の空き家率や空き家数）、通勤・通学時間、昼夜人口比率、自家用乗用車保有台数や世帯あたり台数、建設年度別橋梁数などのグラフを提示して、グラフから読み取れる事実のみを適切に選択できる情報分析力を問う問題である。</p> <p>② 現在、空き地や空き家等に代表される「都市のスポンジ化」は、日本のまちづくりの主要課題であるとともに、特に地方都市においては、人口減少・少子高齢社会への対応が大きな課題であるが、これを解決するために、国は公共交通を軸とした「コンパクトシティの形成」をめざす取り組みを進めていることから、これらは新聞や他のメディアで頻繁に取り上げられている。 持続可能な都市づくりを学ぶ都市・交通デザイン学科の受験生に対し、上記を説明する資料（文章及び図）の読解を通し、問題発見力や問題解決力、表現力を問う問題である。</p> <p>③ 治水という都市デザインにとって不可欠の課題を題材として、これにまつわる種々の問題を発見し、問題を解決するための方策を多角的に考えさせる、問題発見力や問題解決力、情報分析力を問う問題である。 問い（1）は、資料として写真を提示し、そこから課題を見出す問題発見力と情報分析力を問う問題である。 問い（2）①、②、③は問題解決力を問う問題である。与えられた条件から数理的手法を駆使して問題解決を図るものであるが、用いる数学は基礎的なものであり、数学力そのものを問うのではなく、いかに数学の基礎を実用的、工学的問題に応用できるかを問うものである。</p>

	<p>また③では、公共事業で重要となる費用最小化に関する問題であり、微分を用いた極値問題の応用力が試され、若干高度な内容となっている。</p> <p>問い（3）は、問題発見、解決に対する応用的な思考力を問うものであり、防災問題に対する日常の関心の高さ、およびその表現力についても問う問題となっている。</p>
備 考	